



平成 19 年 3 月 12 日

会社名 神鋼商事株式会社
 代表社名 代表取締役社長 森 脇 亞 人
 (コード番号 8075 東証第 1 部)
 問合せ先 総務部長 角 谷 和 昭
 (TEL 03-3276-2036)

平成 19 年 3 月期通期業績予想および期末配当予想 (増配および記念配当)
 の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 18 年 11 月 9 日の中間決算発表時に公表しました平成 19 年 3 月期 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日) の通期業績予想について、最近の業績の動向等を踏まえて修正するとともに、配当予想につきましても、期末配当の増配および創立 60 周年記念配当を実施することの修正を決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期通期業績予想の修正 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(1) 連結通期業績予想

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 18 年 11 月 9 日発表)	640,000	7,500	3,300
今回修正 (B)	640,000	8,100	3,600
増減額 (B) - (A)	0	600	300
増減率 (%)	0	8.0%	9.1%
前期 (平成 18 年 3 月期) 実績	588,955	7,001	2,827

(2) 個別通期業績予想

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 18 年 11 月 9 日発表)	573,000	5,600	2,300
今回修正 (B)	573,000	6,100	2,400
増減額 (B) - (A)	0	500	100
増減率 (%)	0	8.9%	4.3%
前期 (平成 18 年 3 月期) 実績	540,260	5,191	1,942

(3) 通期業績予想修正の理由

〔連結〕

平成19年3月期の業績は、鉄鋼および非鉄金属セグメントを中心に自動車、造船など国内製造業向けの需要が好調であったことにより、売上高は前回業績予想と同額の6,400億円となる見込みであります。売上総利益率の向上や有利子負債の削減による金融収支の改善により経常利益は6億円増加の81億円となる見込みであります。

また、特別損失として、中間期に計上しました投資有価証券評価損等(約7億円)に加え、子会社整理損(約7億円)および不良在庫処分損(約3億円)など合わせて約20億円を計上するものの、当期純利益は3億円増加の36億円となる見込みであります。

〔個別〕

当期の個別業績は、上記の連結業績予想修正と同様の理由により、売上高は前回業績予想と同額の5,730億円となりますが、経常利益は61億円、当期純利益は24億円と前回業績予想を上回る見込みであります。

2. 平成19年3月期配当予想の修正

(1) 配当予想の修正

当社は、平成18年11月12日に創立60周年を迎えることができました。これもひとえに株主の皆さまをはじめ、関係各社のご支援、ご協力およびご指導の賜物と心より感謝申し上げます。

期末配当予想につきましては、本年度の業績を鑑み、今後の事業展開および内部留保の状況などを総合的に勘案し、1株あたり普通配当を1円増加の6円とするとともに、創立60周年を記念して株主の皆さまへの感謝の意を表するため1株あたり記念配当1円を加え、合わせて7円に配当予想を修正するものであります。

(2) 配当予想修正の内容

平成19年3月期(平成18年4月1日~平成19年3月31日)

基準日	1株あたり配当金(円)		
	中間期末	期末	年間
前回予想 (平成18年11月9日発表)	-	5円	5円
今回修正予想	-	7円 (普通配当6円) (記念配当1円)	7円 (普通配当6円) (記念配当1円)
前期(平成18年3月期)実績	-	5円	5円

以上

本資料の予想に係る部分は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。